AAPM TG142をやってみよう

Introduction to the Elekta Linear Accelerator

エレクタ株式会社 アプリケーションフィジックス





Contents

Linac Operation

Servo System

Appendix





リニアックを構成する部品や構造

電子銃(二極管)



スラローム偏向電磁石



進行波型加速管

マグネトロン

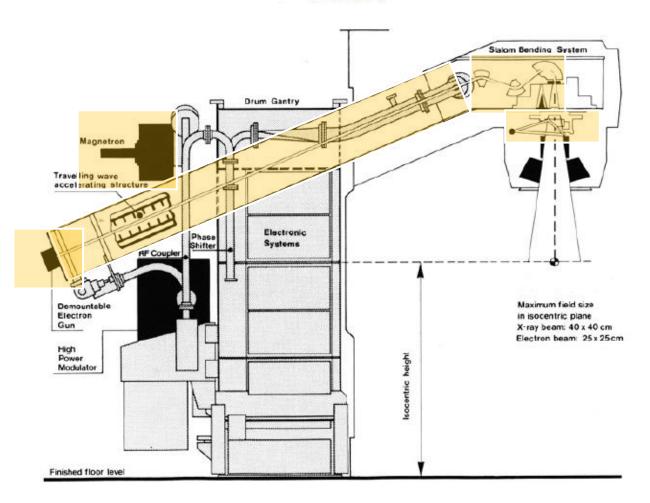


イオンチェンバ





側面図



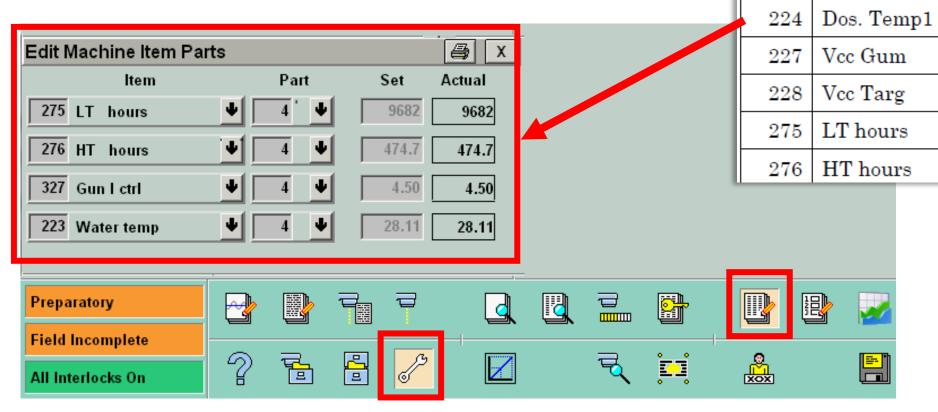
※ 動画です。





Edit Machine Item Parts

例;



治療機の状態を定量的に把握することが可能です。



番号

223

名前

Water Temp

内容

冷却水水温

ヘッド内温度

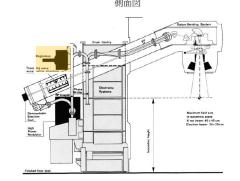
電子銃側真空値

ターゲット側真空値

システム通電時間

高圧電圧使用時間

276 HT hours 高圧電圧使用時間



ファストチューン・マグネトロン

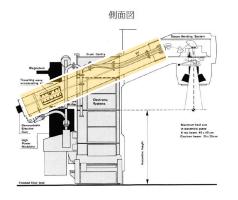
- Radio Frequency (RF) 発生器
- 4MV(最低)から25MV(最高)まで
- 12か月ごとに点検を実施
- 交換頻度:約3.5年(通常1000~1200h程度で交換を推奨)
- 部品劣化になりやすい要因:**毎日の使用前ウォームアップを実施しない場合、耐用期間が短くなる**

交換理由		%
定期交換		56.99
その他	Dose Rateの異常(低下、不安定)	
	劣化の兆候	43.01
	Tunerのトラブル	43.01
	その他	



2018/1/1~5.5年で集計

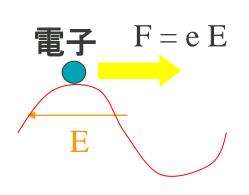
227	Vcc Gum	電子銃側真空値
228	Vcc Targ	ターゲット側真空値

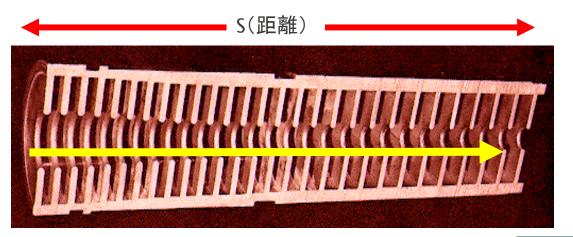


進行波型加速管

- 20年保証 過去交換実績無し
- 厳しい真空度を必要しない
- 6か月、12か月ごとに点検を実施

電子のエネルギー: W(仕事)=F(電界強度)×s(移動距離)





同じエネルギーWを得ようとすると、 進行波は距離sが大きい

- →力(電界強度)Fは小さくて済む
- →放電が起きにくい

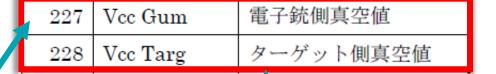
低い真空度で済む

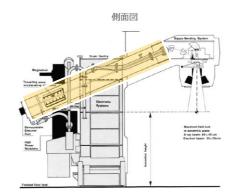
真空を引く時間が少なくて済むので、 装置のダウンタイムが少ない

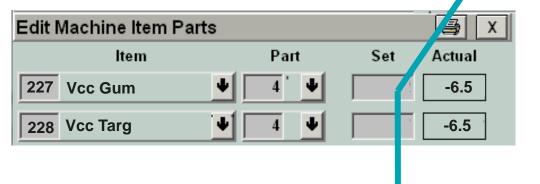


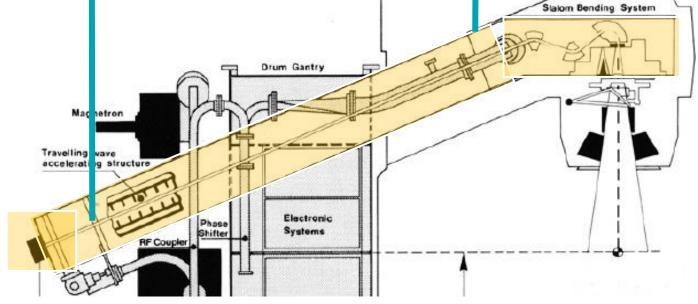


進行波型加速管



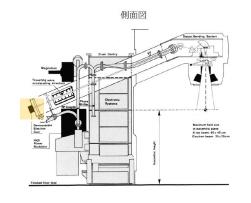








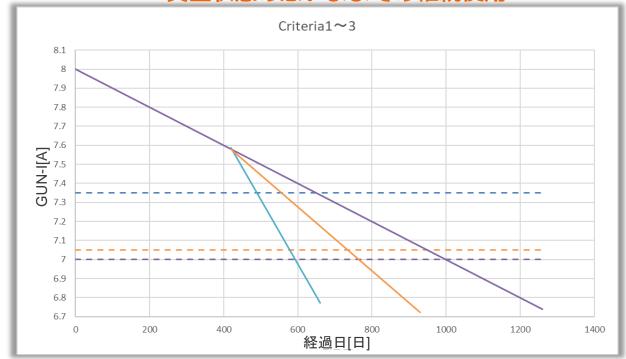
227 Vcc Gum 電子銃側真空値 228 Vcc Targ ターゲット側真空値



電子銃フィラメント

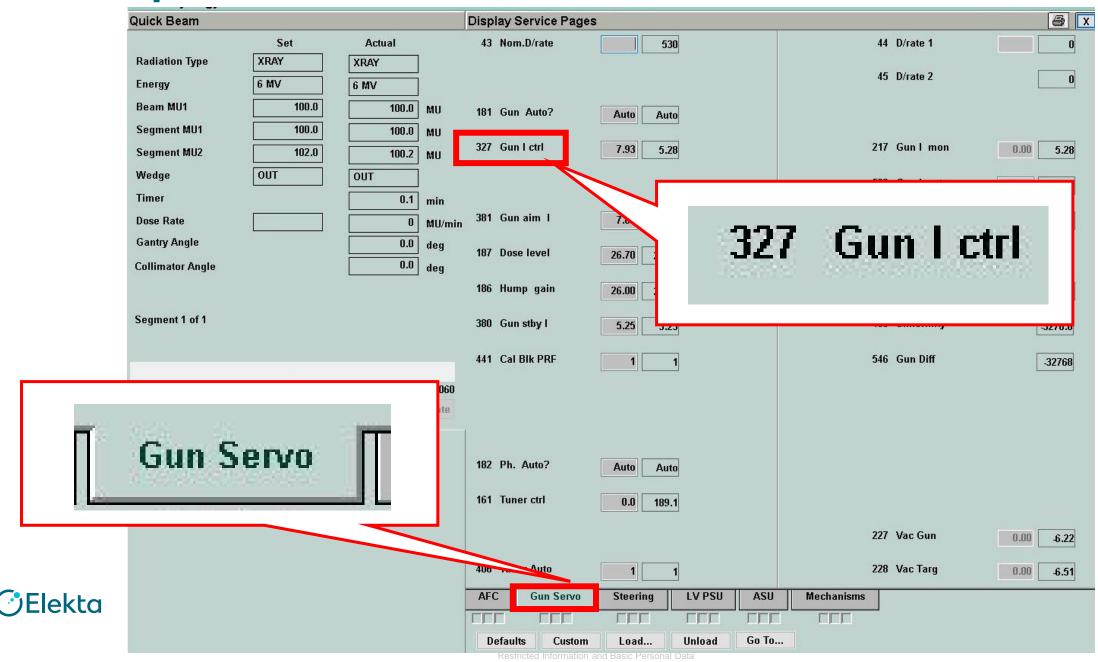
- 6か月ごとに"電子銃サーボテスト実施"
- 交換頻度:約1Aのフィラメント電流の低下
- 部品劣化になりやすい要因:

真空状態の悪いままでの継続使用



交換理由		%
定期交担	定期交換	
その他	DoseRateの異常(低下、不安定)	
	フィラメントの断線	
	フィラメントの短絡	12.64
	シンメトリー異常	
	その他	

2018/1/1~5.5年で集計



スラロームベンディングシステム

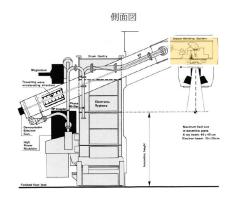
- 小さいガントリーヘッドを実現
- 低いアイソセンタ位置

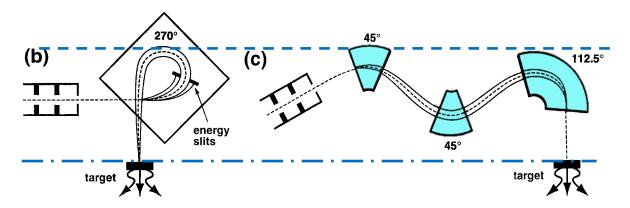
フライトチューブ

- 真空状態が悪い場合に交換にいたることがある



227	Vcc Gum	電子銃側真空値		
228	Vcc Targ	ターゲット側真空値		





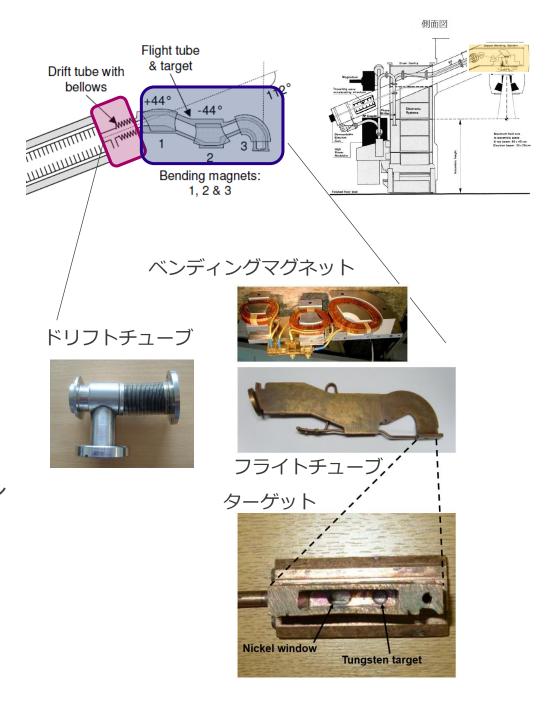
交換理由		%	
リーク(真空漏れ)		72.73	
その他	T側真空値が不安定		
	駆動系の故障	27.27	
	真空計オーバーホール		

2018/1/1~5.5年で集計



ターゲットシステム

- ・ ドリフトチューブが伸縮することにより2つのポジションに移動する
- X線モード: タングステンターゲットが ビーム経路に配置されるポジション
- 電子線モード: 薄いニッケル窓が ビーム経路内に配置されるポジション





ターゲットシステム

- ドリフトチューブは使用終了後、

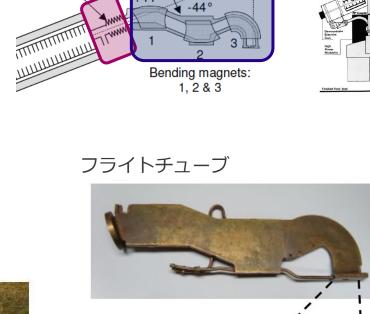
X線モードに切り替えることで負荷が軽減する





ベンディングマグネット



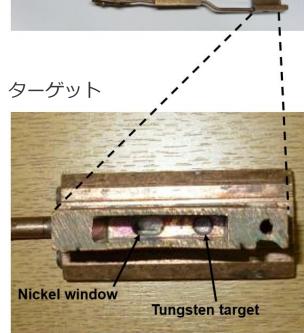


Flight tube

& target

Drift tube with bellows





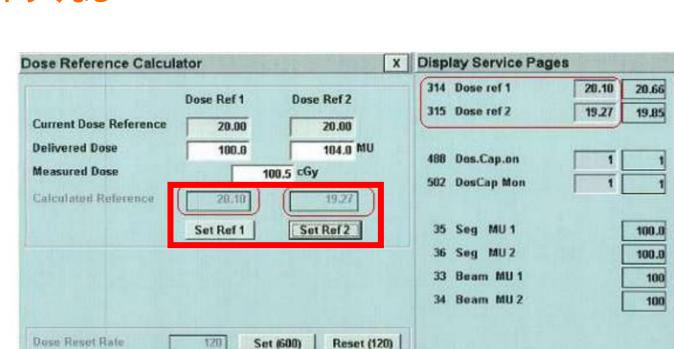
Maximum field size in isocentric plane X-ray beam: 40 x 40 cm Electron beam: 25 x 25 cm

イオンチェンバ

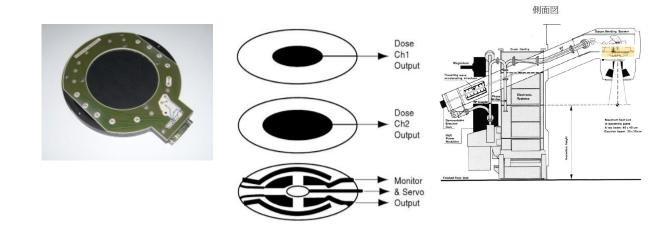
- 開放型
- 内部気体のリークが無いため安定
- 湿度の管理が必要
- "Dose Ref"の経時的な管理で、異変を察知しやすくなる

Servo Input Beam (SIB) PCB

- チェンバから送られてきた信号を基に デジタル制御を行う
- 部品交換頻度:約6年ごと





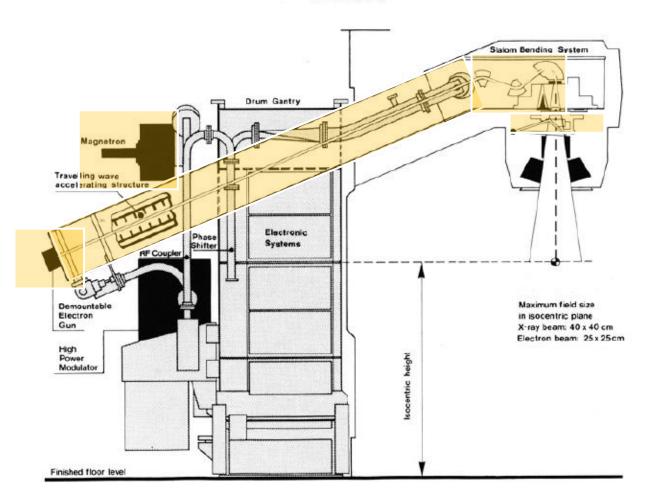


Linac Operation _ Summary

- ファストチューン・マグネトロン
- 進行波型加速管
- ・ 電子銃フィラメント
- スラロームベンディングシステム
- ・フライトチューブ
- ターゲットシステム
- ・イオンチェンバ
- SIB

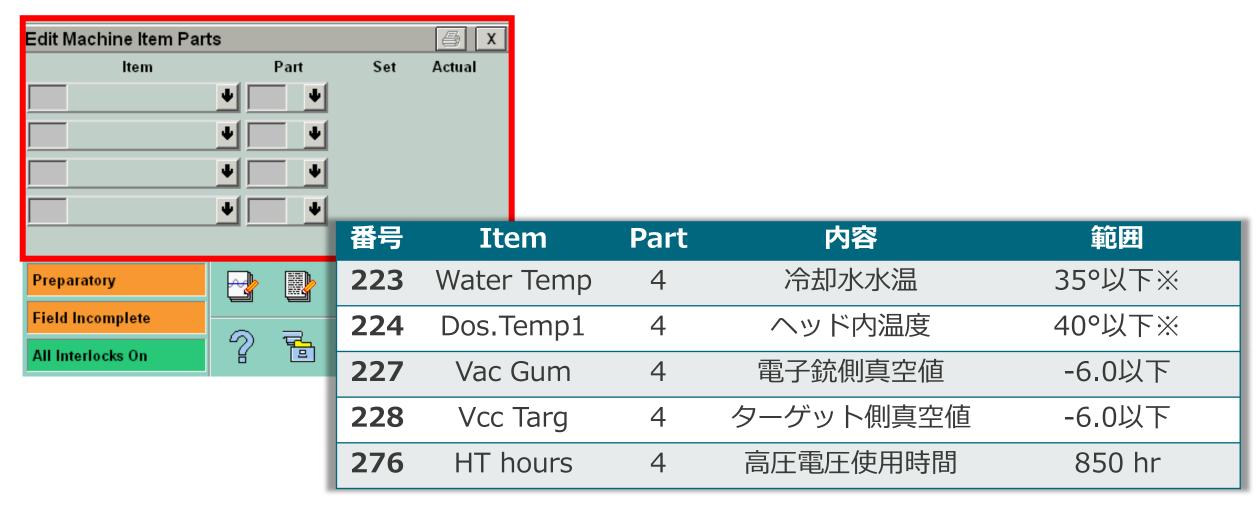


側面図



Linac Operation _ Summary

Edit Machine Item Parts





※インターロックがかかる上限の数値です。

Linac Operation _ Summary

交換部品と品質管理項目

部品	交換頻度	交換後チェック項目			
РРИН		エネルギー	プロファイル	線量率	線量
マグネトロン	約3.5年 (1000~1200h)	0	0	0	0
電子銃	約1Aの電流低下	0	0	0	0
ベンディングマグネット	_	\circ	\circ	\circ	\circ
フライトチューブ				<u> </u>	
イオンチェンバ	_	\circ	\bigcirc		
SIB					



治療機の裏側を 見てみましょう





周波数、エネルギー、対称性に関与したサーボ機構があります。

AFC

RFの安定した周波数を維持するサーボ機構

Gun Servo

ビームのエネルギー(Flatness)を維持するためのサーボ機構

Steering Servo

ビームのSymmetryを維持するためのサーボ機構

Elekta



Automatic Frequency Controller (AFC)

AFC

RFの安定した周波数を維持するサーボ機構

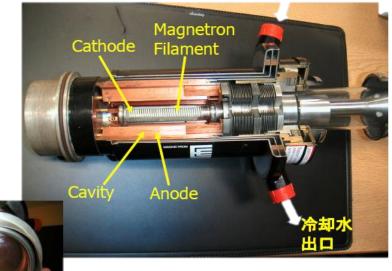
ビームを継続的に出力している場合、マグネトロンが熱膨張や収縮などの

体積変化を生じる

- 電子を加速するための最適なRFの周波数が得られず、ビームが安定しない



自動的に最適なRF周波数に調整、維持するサーボ機構

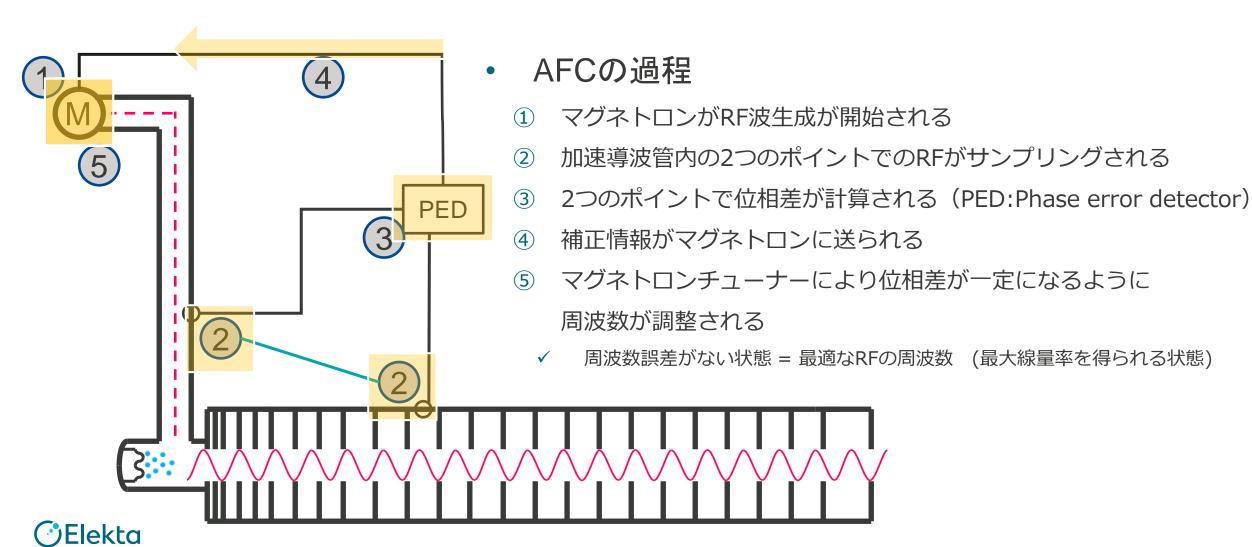


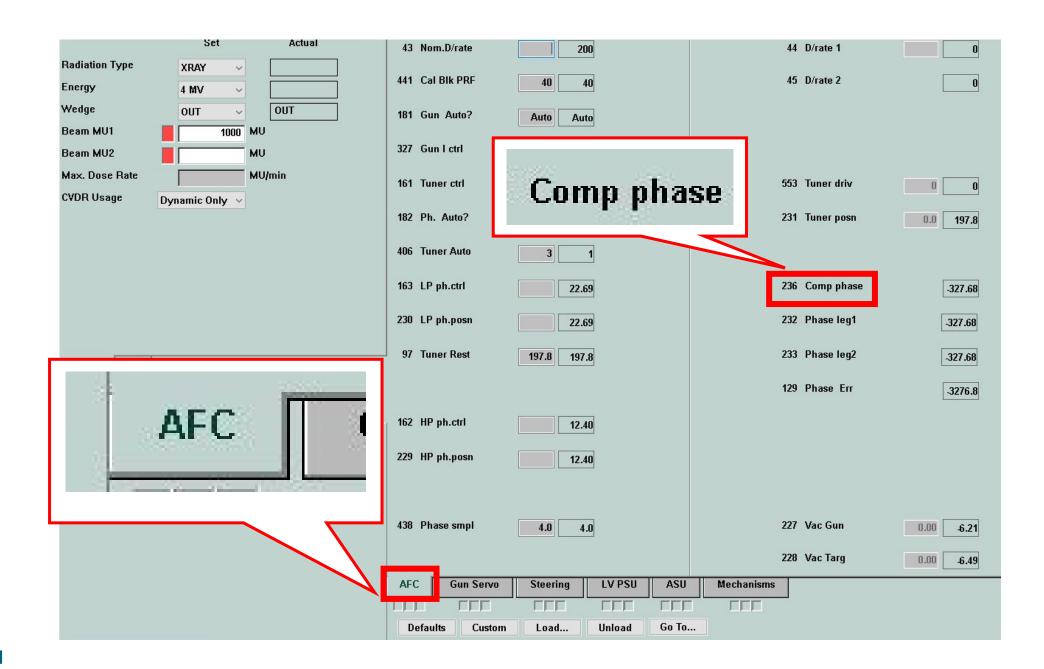


Automatic Frequency Controller (AFC)

AFC

RFの安定した周波数を維持するサーボ機構





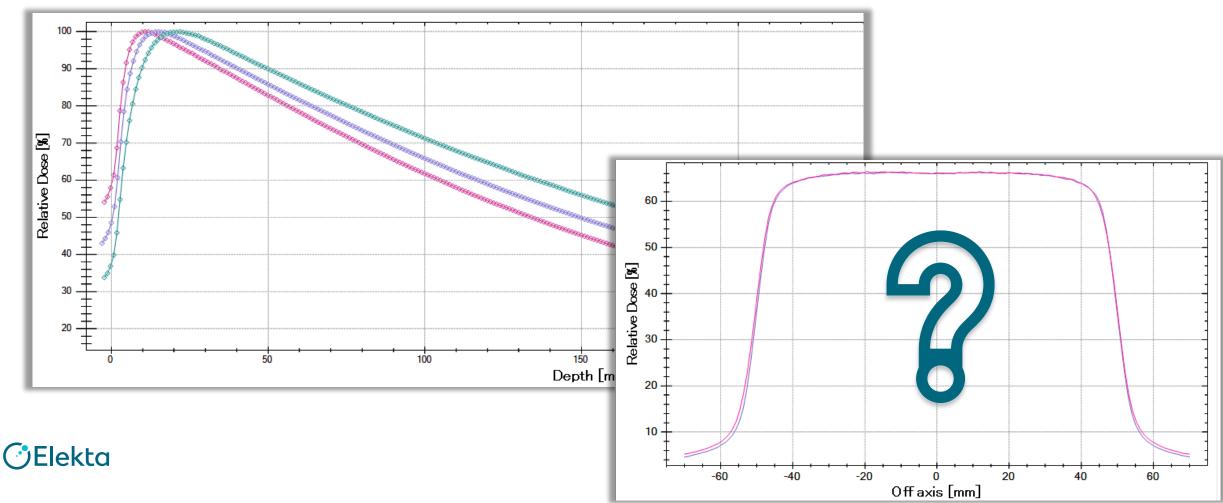


Gun Servo

Gun Servo

ビームのエネルギー(Flatness)を維持するためのサーボ機構

エネルギーが変化すると、ビームはどうなる?



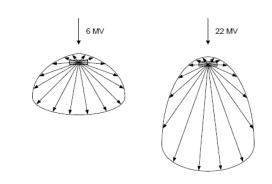
Servo System Gun Servo

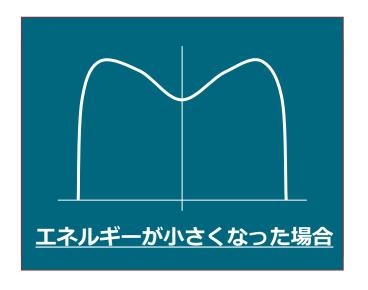


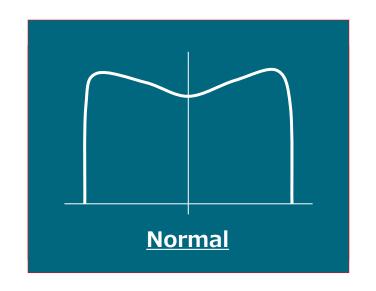
Gun Servo

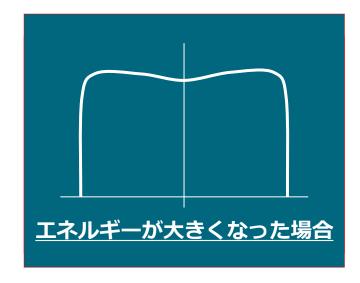
ビームのエネルギー(Flatness)を維持するためのサーボ機構

- エネルギーが変化すると、X線光子の強度分布が変化し、 Flatness(平坦度)が変化する
- 電子銃のフィラメント電流を調整し、自動的にFlatnessを維持するサーボ機構













Gun Servo

Gun Servo

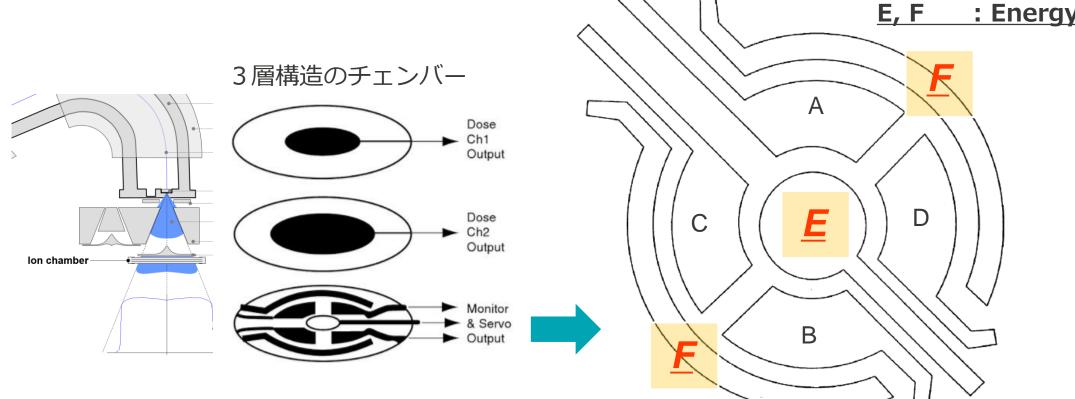
ビームのエネルギー(Flatness)を維持するためのサーボ機構

ビームプロファイルをイオンチェンバで感知

: In plane側制御 A, B

C, D : Cross plane側制御

: Energy 制御



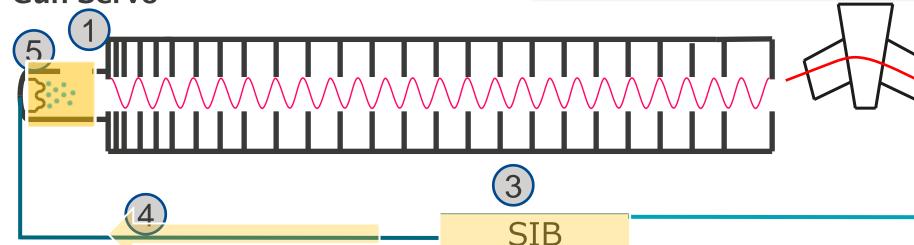


Ion chamber beam servo plates

Gun Servo

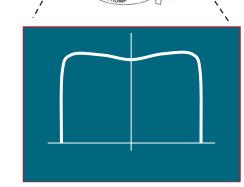
Gun Servo

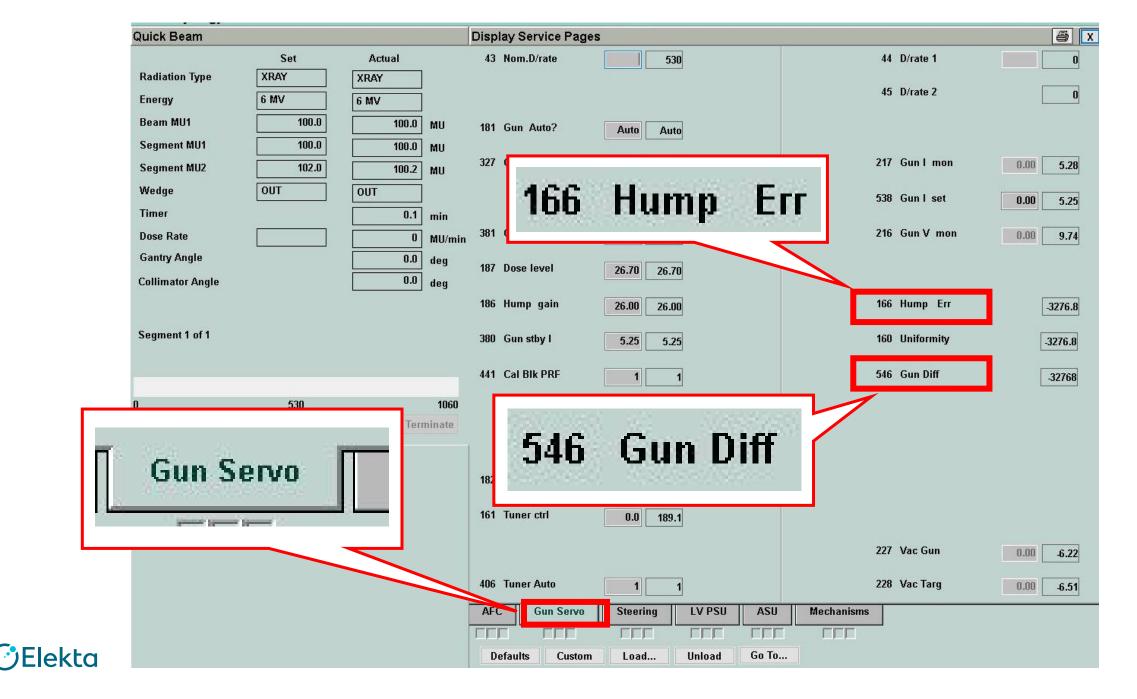
ビームのエネルギー(Flatness)を維持するためのサーボ機構





- Gun servoの過程
 - ①電子銃から生成された電子がRF波にのって加速され、ビームが出力される
 - ②イオンチェンバでビームプロファイルがサンプリングされる
 - ③2つのプレート(イオンチェンバの外側と内側)で、設定した基準となる プロファイルとの誤差が計算される
 - ④誤差がある場合、補正情報が電子銃に送られる
- ⑤プロファイルの誤差がなくなるよう電子銃のフィラメント電流が調整される **Elekta**



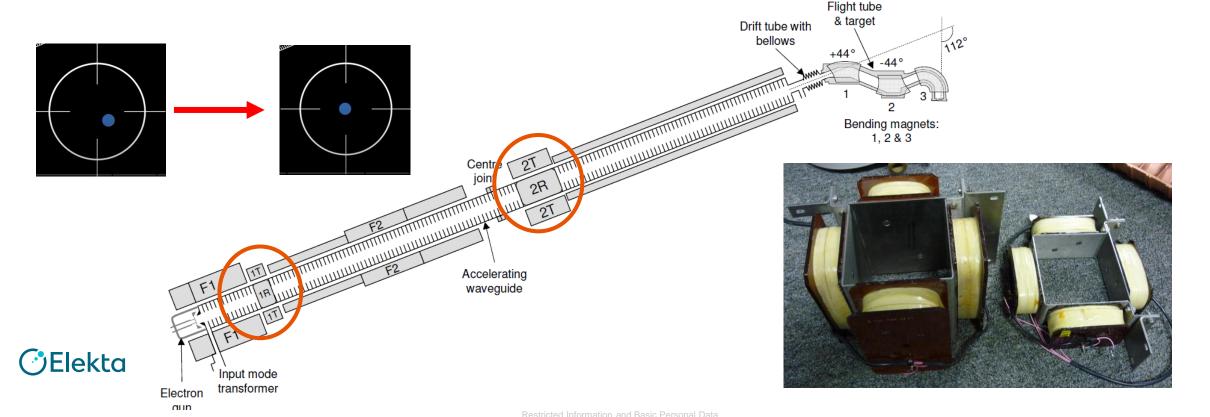


Steering Servo

Steering Servo

ビームのSymmetryを維持するためのサーボ機構

- 機械的な変化や地磁気の影響により、加速管を通る電子の経路が変化する
- ・加速管を通る電子の経路が変化すると、Symmetry (対称性)が変化する
- 2組のステアリングコイル(2R/2T、1R/1T)により、電子が加速管内の中心の通るように制御する

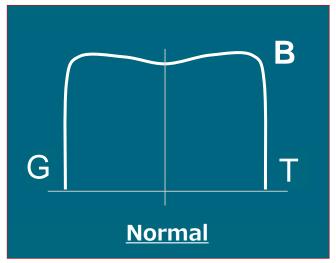


Steering Servo

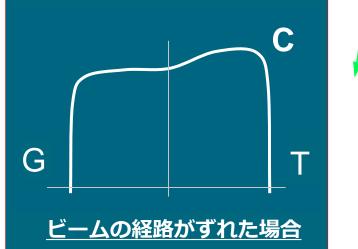
電子の経路を調整し、

自動的にSymmetryを維持する

A ビームの経路がずれた場合 **Elekta**

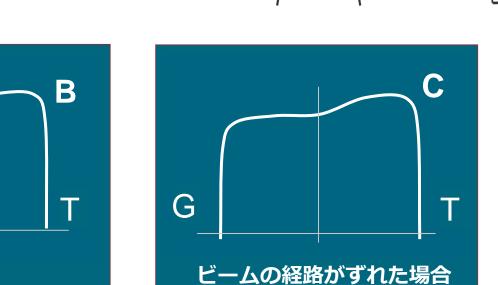


A





ビームのSymmetryを維持するためのサーボ機構



後ほどの実習でご確認ください。

Steering Servo

Symmetryの変化をイオンチェンバで感知

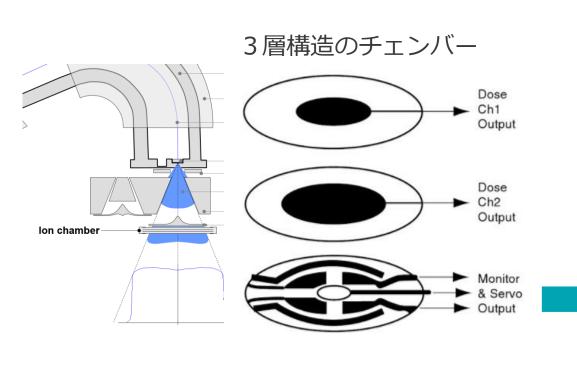
Steering Servo

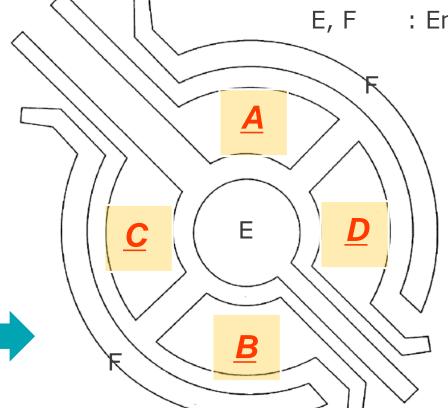
ビームのSymmetryを維持するためのサーボ機構

: In plane側制御 **A**, **B**

: Cross plane側制御

: Energy 制御





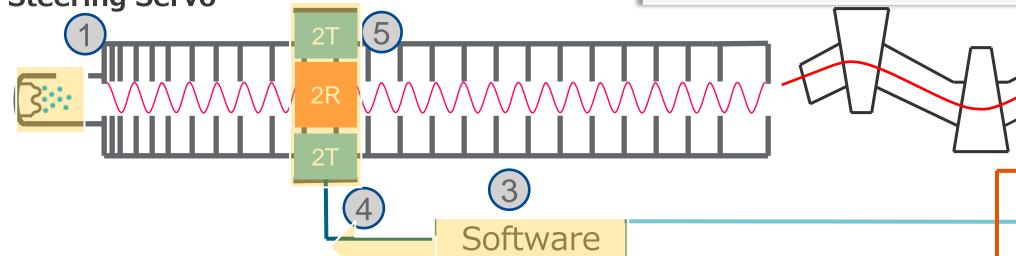


Ion chamber beam servo plates

Steering Servo

Steering Servo

ビームのSymmetryを維持するためのサーボ機構

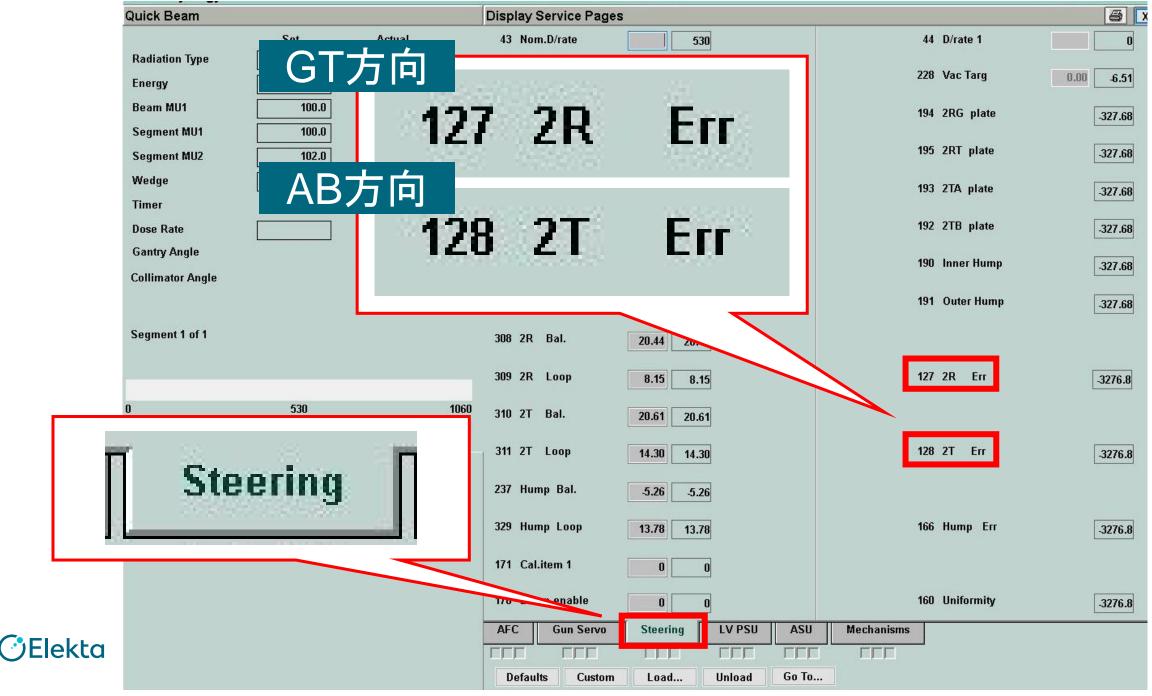


• Steering Servoの過程

- ①電子銃から生成された電子がRF波にのって加速され、ビームが出力される
- ②イオンチェンバでビームプロファイルがサンプリングされる
- ③2つのプレート(イオンチェンバのG/T側、A/B側)で、設定した基準となる プロファイルとの誤差が計算される
- ④誤差がある場合、補正情報がステアリングコイルに送られる
- ⑤プロファイルの誤差がなくなるようにステアリングコイルの電流が調整される

Elekta





Servo System _ Summary

X線のビーム生成には、周波数、エネルギー、対称性に関与した3つのサーボ機構が

働いています

AFC

RFの安定した周波数を維持するサーボ機構

実習で確認!

Gun Servo

ビームのエネルギー(Flatness)を維持するためのサーボ機構

実習で確認!

Steering Servo

ビームのSymmetryを維持するためのサーボ機構



Servo System _ Electron

電子線では、どのように制御されているのでしょうか・・・

— X線 —

AFC

周波数

Gun Servo

ビームのエネルギー(Flatness)

Steering Servo

ビームのSymmetry

一 電子線 一

AFC

周波数

Gun Servo

線量率

Steering Servo

ビームのSymmetry

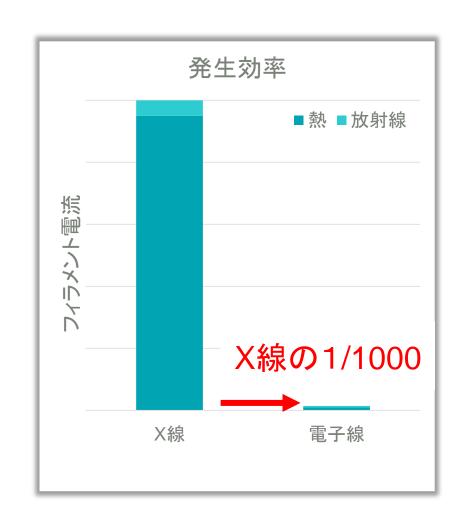


Servo System _ Electron

- フィラメント電流の変化は ビームエネルギーに影響を与えません
- フィラメント電流は線量率をサーボするために 使用されます

電子線のエネルギーは、RFパワーや周波数など作用される因子それぞれで、最適化を実施し調整されています。





Appendix

Overview of Linac Components



- VersaHD
- iViewGT
- XVI
- Precise Table
- Hexapod
- iBeam EVO
- Agility Head



Overview of Linac Components



Elekta VersaHD linac

• X線:

- 3 FFビーム デフォルト : **6 / 10 MV**

オプション : **4 / 15 / 18 MV** (1つを選択)

- 2 FFFビーム : **6FFF / 10 FFF MV**

電子線 6 ビーム: 4 MeV - 15 MeV

デジタルコントロールシステム

• 放射線とイメージングアイソセンタの一致: **< 1.0 mm**



Overview of Linac Components



iViewGT

MV EPID (AMSI panel)

パネルの物理的なサイズ : 41 cm x 41 cm

• 最大イメージングサイズ : <u>26 cm x 26 cm</u>

• マトリクスサイズ : <u>1024 x 1024 pixels</u>

アイソセンタ面でのピクセルサイズ : 0.25 mm

• 線源-検出器間距離 : **160 cm**



Overview of Linac Components



XVI

KV Imager

• 2D, 3D, 4D イメージング

パネルの物理的なサイズ : 41 cm x 41 cm

最大スキャン長 : <u>27 cm</u>

• FOV : 27 cm (S) / 41 cm (M) / 50 cm (L)

• パネルのダレの補正: Flexmap calibration



Overview of Linac Components



Precise Table

• 4 軸可動

- Longitudinal : <u>0 - 100 cm</u>

- Lateral : <u>**50 cm**</u>

- Height : **110 cm**

- Isocentric : <u>200°</u>

コラム回転 : 360°

• 位置精度 : <u>< 1 mm</u> or <u>10</u>

• 最大荷重 : <u>200 kg</u>



Overview of Linac Components



HexaPod Evo

• 6 軸可動

• ドライブポジションからの最大稼働範囲

- 回転方向 : **± 3º**

- 並進方向 : **± 30 mm**

• 位置精度 : < 0.5 mm or 0.10

• 最大荷重 : <u>200 kg</u>



Overview of Linac Components



iBeam Evo

フォームコア付きカーボンファイバー

• 減衰特性

- 6 MV : **2.4 %**

- 10 MV : **1.9 %**

• カーボンファイバー天板結合部

- イメージング時にアーチファクトを発生させる原因となり、 治療時には線量を減衰させるため、避ける必要がある



Overview of Linac Components



Agility

• 80対 (160枚) のMulti leaf collimator

• アイソセンター面でのリーフ幅 : <u>5 mm</u>

最大リーフスピード : **3.5 cm/s**

最大照射野サイズ : 40 cm x 40 cm

MLC の透過線量 : <u>0.5%</u>

・ 光学追跡システム

- 紫外線によるルビーの発光で各リーフの位置を認識

• Interdigitation 可能

60°の内挿ウェッジ

- 位置精度 (ウェッジファクターの変化): **< 2%**



参考資料

Elekta Medical Linear Accelerator

Instructions for Use Volume 1 for: Elekta Synergy®, Elekta Infinity™, VersaHD™ 「8 メンテナンス」に点検項目の詳細が記載されています。

Elekta @Youtube

Elektaの製品やサービスなどに関する動画が多数あがっています。



Hope for everyone dealing with cancer.